

ホントに有機農業やりたい？

オーガニック

はじめてみたら

~~¥1,000~~

なんと価格は
1.5倍

¥1,500



収量は▲20%だし



もうかんねえなあ



どれだけ買ってくれるのさ？



他にも・・・

施肥の方法は

これを撒くのも手作業??



化学肥料

×1袋 =

(¥5,000/袋)



有機肥料

×100袋

(¥500/袋)

農業機械

1台で

お値段

●百万円

必要なのは
1台だけじゃ
ないし



○田さん曰く「フェラーリかよ」

虫が発生しても薬は撒けないし、研究者が言うのは味も変わらないんだってさ
有機農業を志すのはこれ以上にハードルが高いんです

それでも皆さんは有機農産物を期待しますか？

「はい」と答えた人は

みんなで作って・買って・食べて
赤磐の食を作っていくプロジェクト



にぜひご参加ください

和の食は赤磐北部仁堀地区を
農業拠点化して、有機農産物を生産。
健康的で新しい赤磐の食を生み出し
それを赤磐全域に広げていく活動です。

仁堀地区は旧吉井町
の中心に位置しており
赤磐市の田舎を象徴
する地域でもあります。

吉井地域

赤坂地域

北あかいわエリア

和の食は「赤磐の食」をモチーフに当協議会が作成しました。

コンセプトは「おいしさ」×「食の安全」

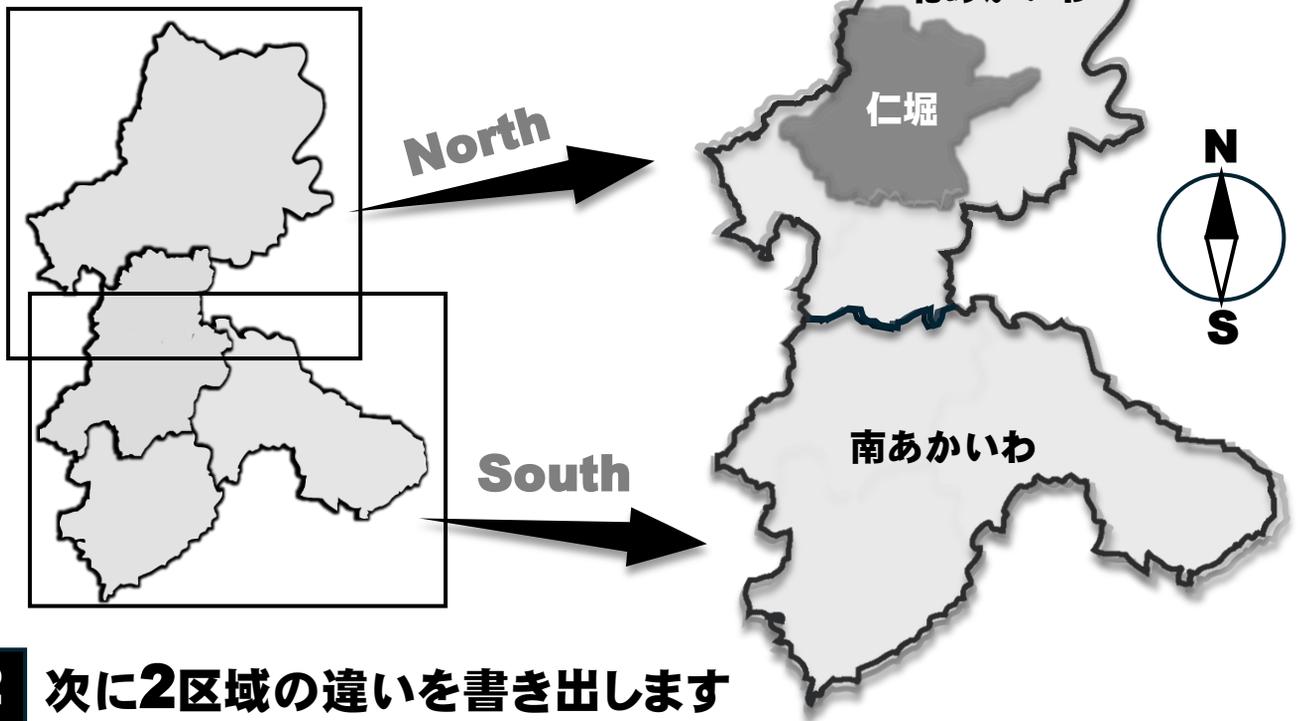
このコンセプトを実現するための最良な手段が有機農業です。
有機農業を普及するために、薬に頼らないNO薬技術の開発と
農家さんを助けるための収益システムの構築にも力を注ぎます。

にぼり村まちづくり協議会 niborimura@gmail.com



赤磐市の「あらたなまちづくり」計画を私たちの地域目線でアレンジしてみました!

1 まず赤磐市を2区域に分けて考えます (ゾーン)



2 次に2区域の違いを書き出します

南あかいわエリア

山陽・熊山の市街地開発地域の
桜が丘に人口が一極集中
市庁舎を構える赤磐市の中心地

北あかいわエリア

田園風景が広がる農村地帯で
少子高齢化が進む限界集落群
その中心にあるのが仁堀地区

3 そして2区域の特色を生かしたまちづくりの方針を決めます

北あかいわエリア

北 [north] の [n] は

仁堀 [nibori]

農業 [nougyo] の頭文字

農村 [nouson]

n

4 つまり私たちが考えているまちづくりを一文で表すと

北あかいわエリアの仁堀地区に【農の都】を作ろうとする計画

だったら、南の [S] は?

桜が丘 [sakuragaoka] に市街地 [sigaiti] を集積 [syuseki] した都市開発